



# 中間事業報告書

第 68 期

平成14年 4 月 1 日から平成14年 9 月30日まで

新光電気工業株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと拝察申しあげます。第68期中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当中間期におけるわが国経済は、米国をはじめとする海外景気減速の影響を受け、設備投資の低迷が続くとともに、厳しい雇用情勢に伴う個人消費の不振に加えて、デフレ傾向にも依然歯止めがかからず、景気後退色が一段と鮮明になりました。また、海外におきましても、米国における不正会計疑惑やハイテク企業の業績不振に起因する急激な株安、ドル安を背景に、企業や消費者の景況感が悪化し、景気の先行き懸念が高まる状況となりました。

半導体業界は、一時的には回復の兆しもみられたものの、通信関連をはじめとして設備投資が依然低迷し、加えてパソコン販売の伸び悩みなどから半導体製品の価格が大幅に下落するなど、競争が一段と激化する厳しい状況に陥りました。

このような状況下において、当社グループは市場ニーズに対応した半導体パッケージの生産体制を整備するとともに、新規事業の立上げ、新規顧客の開拓を強力に推進し、また従来より取り組んでまいりました事業構造改革が奏効したことなどにより、当中間期の連結決算につきましては、売上高は609億60百万円（対前年同期比12.5%増）となりました。収益面におきましては、厳しい市場環境のもと製品価格が大幅に下落したものの、不採算製品の整理をはじめとする各部門における合理化・効率化の推進等により、経常利益は38億54百万円、中間純利益は17億37百万円を計上いたしました。

部門別の状況といたしましては、ICリードフレーム部門では、DRAM向けのLOC（リード・オン・チップ）タイプリードフレームの需要減やプラスチックIC組立の受託数量減などにより売上は低迷いたしました。ICパッケージ部門は、期前半においてMPUおよびチップセット向けPLPの需要が堅調に推移したほか、BGA基板やカメラモジュール組立などの新規需要開拓が寄与し、売上は増加いたしました。また、気密部品部門につきましては、光通信用パッケージが長期にわたる市場低迷により減少となったものの、DVD、CD-R

/RW向けを中心に光素子用ガラス端子の受注が回復し、売上が増加いたしました。

当社の単独決算につきましては、受注高は610億91百万円（対前年同期比14.7%増）、売上高は590億47百万円（同15.1%増）となりました。また、経常利益は34億63百万円、中間利益は15億53百万円を計上いたしました。なお、当期の中間配当金につきましては、前中間期に比べ5円増配し、1株当たり10円とさせていただきます。

今後のわが国経済は、不良債権処理の本格化による企業淘汰の加速や生産拠点の海外移転等に伴う大規模な雇用調整などへの不安が消費者心理を一段と冷え込ませ、加えて景気先行きへの懸念から設備投資意欲がさらに減退するなど、今後も厳しい状況が続くものと見込まれます。

また、半導体業界は、一時は持ち直しの動きもみられたものの、パソコン販売の不振や携帯電話市場の伸び悩みなどにより、需要の大幅な回復が見込まれないなか、企業間の競争がさらに激化し、高品質・低価格化の要求もますます強まるなど、先行きは予断を許さない不透明な状況にあります。

このような環境下において、当社グループといたしましては、すべての分野において、抜本的な事業構造の見直しや徹底した業務改革を断行し、生産体制の合理化・効率化、コストダウンを強力に推進してまいります。また、経営資源の選択と集中をさらに進め、改革のスピードを一層加速することによって、激変する事業環境に即応できる企業基盤を確立し、利益体質の確保を図ってまいり所存であります。そして、単に半導体パッケージにとどまることなく、半導体実装のさまざまな要素技術を蓄積・融合し、お客様に「半導体後工程のトータルソリューションを提供する企業」として、さらなる進化・飛躍を目指す所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成14年12月

代表取締役社長 茂木淳一

## 業績の推移

### 連結

区 分 \ 期 別	前年中間期 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)	当 中 間 期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前 期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
売 上 高	54,200百万円	60,960百万円	113,962百万円
経 常 利 益	1,219百万円	3,854百万円	7,755百万円
中 間 ( 当 期 ) 純 利 益	383百万円	1,737百万円	3,594百万円
1 株 当 期 純 利 益 中 間 ( 当 期 ) 純 利 益	8円52銭	38円74銭	80円 4銭
総 資 産	154,198百万円	145,115百万円	146,676百万円
純 資 産	79,244百万円	84,114百万円	83,262百万円

(注) 1株当り中間(当期)純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。

### (部門別売上高)

部 門 \ 期 別	前年中間期 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)	当 中 間 期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前 期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
I C リードフレーム	19,222百万円 (35.5%)	18,044百万円 (29.6%)	36,324百万円 (31.9%)
I C パッケージ	28,462百万円 (52.5%)	35,190百万円 (57.7%)	64,562百万円 (56.6%)
気 密 部 品	6,462百万円 (11.9%)	7,713百万円 (12.7%)	13,005百万円 (11.4%)
そ の 他	52百万円 ( 0.1%)	11百万円 ( - %)	70百万円 ( 0.1%)

(注) ( )内の数字は構成比率を表しております。

### 単 独

区 分 \ 期 別	前年中間期 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)	当 中 間 期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前 期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
売 上 高	51,322百万円	59,047百万円	109,254百万円
経 常 利 益	1,480百万円	3,463百万円	7,955百万円
中 間 ( 当 期 ) 利 益	487百万円	1,553百万円	2,873百万円

# 決算概要(連結)

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前年中間期 (平成13年9月30日現在)	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成14年3月31日現在)	科目	期別	前年中間期 (平成13年9月30日現在)	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成14年3月31日現在)
資産の部		154,198	145,115	146,676	負債の部		76,291	62,007	64,526
流動資産		82,418	78,702	79,823	流動負債		46,514	33,136	36,919
現金及び預金		32,285	26,282	31,598	買掛金		10,523	13,241	11,247
受取手形及び売掛金		25,438	28,030	24,894	短期借入金		18,672	5,108	13,135
たな卸資産		12,131	11,160	11,058	その他		17,318	14,786	12,536
預け金		8,000	9,400	7,700	固定負債		29,777	28,871	27,606
その他		4,652	3,878	4,689	少数株主持分		1,338	1,007	1,112
貸倒引当金		88	49	117	資本の部		79,244	84,114	83,262
固定資産		71,779	66,412	66,853	資本剰余金		24,223	24,223	24,223
有形固定資産		67,596	60,422	61,130	資本剰余金		24,150	24,150	24,150
無形固定資産		771	1,132	921	利益剰余金		33,749	38,681	37,502
投資その他の資産		3,411	4,858	4,801	その他有価証券評価差額金		11	9	31
合計		154,198	145,115	146,676	為替換算調整勘定		2,225	2,286	1,981
					自己株式		664	664	664
					合計		154,198	145,115	146,676

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前年中間期 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)	当中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
売上高		54,200	60,960	113,962
売上原価		46,022	49,612	92,780
販売費及び一般管理費		5,893	6,021	12,150
営業利益		2,284	5,326	9,031
営業外収益		722	563	1,795
営業外費用		1,787	2,036	3,071
経常利益		1,219	3,854	7,755
特別損失		3,501	653	4,031
税金等調整前中間(当期)純利益		2,282	3,200	3,723
法人税、住民税及び事業税		1,658	2,044	4,150
法人税等調整額		1,805	726	2,468
少数株主利益		1,751	145	1,551
中間(当期)純利益		383	1,737	3,594

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前年中間期 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)	当中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		11,325	11,650	26,302
投資活動による キャッシュ・フロー		20,666	7,134	18,456
財務活動による キャッシュ・フロー		6,867	7,684	2,108
現金及び現金同等物 に係る換算差額		259	447	561
現金及び現金 同等物の増減額		2,214	3,615	6,299
現金及び現金 同等物期首残高		32,999	39,298	32,999
現金及び現金同等物 中間期末(期末)残高		30,785	35,682	39,298

# 決算概要(単独)

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前年中間期 (平成13年9月30日現在)	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成14年3月31日現在)	科目	期別	前年中間期 (平成13年9月30日現在)	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成14年3月31日現在)
資産の部		150,957	145,436	145,574	負債の部		69,217	59,697	60,809
流動資産		76,531	75,128	75,740	流動負債		39,494	31,955	33,242
現金及び預金		27,067	21,917	26,837	買掛金		10,572	14,080	11,845
受取手形及び売掛金		26,097	29,879	26,818	短期借入金		14,652	3,717	9,732
たな卸資産		10,919	10,272	9,997	その他		14,269	14,157	11,663
預け金		8,000	9,400	7,700	固定負債		29,722	27,742	27,567
その他		5,888	3,687	5,598	資本の部		81,740	85,738	84,765
貸倒引当金		1,441	28	1,211	資本金		24,223	24,223	24,223
固定資産		74,426	70,307	69,833	資本剰余金		24,150	24,150	24,150
有形固定資産		62,655	57,969	58,421	利益剰余金		33,355	38,019	37,024
無形固定資産		753	1,130	919	(うち中間(当期)利益)		(487)	(1,553)	(2,873)
投資等		11,017	11,207	10,492	株式等評価差額		11	9	31
自己株式								664	664
合計		150,957	145,436	145,574	合計		150,957	145,436	145,574

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前年中間期 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)	当中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
売上高		51,322	59,047	109,254
売上原価		43,138	47,910	88,090
販売費及び一般管理費		6,146	6,341	12,529
営業利益		2,038	4,796	8,634
営業外収益		770	426	2,100
営業外費用		1,327	1,758	2,780
経常利益		1,480	3,463	7,955
特別損失		2,266	653	3,010
税引前中間(当期)利益		785	2,810	4,944
法人税、住民税及び事業税		1,499	1,986	4,000
法人税等調整額		1,798	729	1,929
中間(当期)利益		487	1,553	2,873
前期繰越利益		1,752	2,372	1,752
合併引継未処分利益				520
中間配当額				224
中間(当期)未処分利益		1,265	3,925	4,922

## 会社の概要

(平成14年9月30日現在)

商号 (英文名称)	新光電気工業株式会社 (SHINKO ELECTRIC INDUSTRIES CO., LTD.)
設立年月日	昭和21年9月12日
本店	長野県長野市大字栗田字舎利田711番地
本社事務所	長野県長野市小島田町80番地 電話(026)283-1000〔代表〕
主な事業内容	リードフレーム、プラスチック・ラミネート・パッケージ、ガラス端子、アレスタ、精密接触部品などの製造・販売 ICアセンブリ ソフトウェアの作成・販売
従業員数	4,442名
工場	更北、栗田、若穂、高丘、新井、京ヶ瀬
営業所等	東京、大阪、東北、長野、東海、大分、熊本、南九州、デュッセルドルフ、上海、香港、マニラ
子会社	新光パーツ株式会社 新光テクノサーブ株式会社 吉川新光電気株式会社 SHINKO ELECTRONICS (MALAYSIA) SDN.BHD. 韓国新光マイクロエレクトロニクス株式会社 SHINKO ELECTRIC AMERICA, INC. 韓国新光商社株式会社 台新電子股份有限公司 SHINKO ELECTRONICS (SINGAPORE) PTE.LTD. SHINKO MICROELECTRONICS (THAILAND) CO.,LTD.

## 株式の状況

(平成14年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	124,344,000株
発行済株式の総数	45,057,314株
資本金	24,223,020,480円
株主数	12,266名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
富士通株式会社	22,529	50.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	2,036	4.52
UFJ信託銀行株式会社信託勘定A口	1,282	2.85
株式会社みずほ銀行	1,224	2.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	1,205	2.67
資産管理サービス信託銀行株式会社信託A口	998	2.22
三菱信託銀行株式会社信託口	664	1.47
朝日生命保険相互会社	661	1.47
野村信託銀行株式会社投信口	638	1.42
株式会社八十二銀行	612	1.36

## 役員

(平成14年9月30日現在)

代表取締役社長	茂木 淳一	取締役	若林 哲史
専務取締役	黒岩 護	取締役	村田 明彦
専務取締役	倉石 文夫	取締役	小川 喜彦
常務取締役	井本章雄	取締役	井口 和治
常務取締役	生稲 弘明	常勤監査役	増田 悦男
取締役	伊比 誠	監査役	深川 敬三
取締役	若林 信一	監査役	小倉 正道
取締役	藤本 明		

## 株式事務のご案内

### 株式事務取扱場所および取次所

名義書換代理人  
事務取扱場所  
(連絡先)

東京都千代田区永田町二丁目11番1号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
〒171-8508

東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
電話(03)5391-1900〔代表〕

同 取 次 所

三菱信託銀行株式会社 全国各支店

- ・住所の変更、配当金振込の指定・変更、単元未満株式の買取請求ならびに株式の相続手続依頼に必要な各用紙のご請求につきましては、上記名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490におきましても24時間承っております。
- ・上記の名義書換代理人住所および同事務取扱場所は、平成15年5月6日に次の場所へ移転いたします。  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
(なお、名義書換代理人連絡先の住所および電話番号は変更ありません。)

決 算 期  
基 準 日

3月31日

毎決算期現在の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主および実質株主をもって、その決算期に関する定時株主総会において株主の権利を行使することができる株主とみなします。

配当金受領株主確定日  
公 告 掲 載 新 聞

3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日  
日本経済新聞



**新光電気工業株式会社**

〒381-2287 長野県長野市小島田町80番地

電話(026)283-1000〔代表〕 FAX(026)284-8861

ホームページ <http://www.shinko.co.jp>